

空港型市中免税店の展開に関する基本合意について

新関西国際空港株式会社および株式会社関西エアポートエージェンシーは、観光立国推進の一環として、日本を出国される国内外の旅行者の新たな消費を喚起するとともに、訪日外国人の利便性をより一層高めることを目的に、ロッテ免税店と協力し、ビックカメラなんば店において空港型市中免税店(保税売店)を展開する内容の基本合意をしたことお知らせします。

【展開内容(計画中)】

- 店名 : 未定
- 立地 : ビックカメラなんば店 6~7階
- 面積 : 約 4,400 m²
- 出店形態 : 空港型免税店(保税売店)
- 商品構成 : ラグジュアリーブランドのファッション商品、化粧品、香水を中心に、時計、宝飾品、その他国内商品(和雑貨・日本土産)等
- 開業時期 : 2017年春を目標
- 売上目標 : 初年度 130 億円

【参考情報】

・ロッテ免税店の概要

ロッテ免税店は1980年に韓国ソウルの中心(ミョンドン)に初めて国内免税店をオープンし、現在に至るまで韓国国内ではソウル本店、ワールドタワー店、コエックス店、釜山(プサン)店、済州(チェジュ)店、仁川(インチョン)空港店、金浦(キンポ)空港店の7店舗、海外ではグアム、インドネシア、日本の3カ国4店舗の運営と着実に拡大を続けて参りました。

2014年7月にはグアム空港店を、9月には株式会社関西エアポート・エージェンシー(KAA)との運営パートナーシップ合意によるKAA運営の空港免税店「LOTTE DUTY FREE by KAA 関西空港店」をグランドオープンさせるなど、積極的な海外市場進出とチャムシルワールドタワー店の移転オープンを通じて、韓国の免税店では初めて売上高4兆ウォンを突破。スイスデュフリー、米国DFSに続いて売上高第3位となり、他のグローバル免税事業者らと肩を並べる国際競争力を備えている事を証明しました。また、翌2015年には売上高4.7兆ウォン(約4,700億円)を達成しました。

ロッテ免税店は韓国免税市場における絶対的なシェア獲得はもちろんのこと、更なる海外市場進出を通じ、2020年には世界免税市場での売上高第1位をめざして参ります。

・ビックカメラなんば店の概要

店 舗 名	ビックカメラなんば店
所 在 地	549-0074 大阪府大阪市中央区千日前 2-10-1
営 業 時 間	年中無休 AM10:00~PM9:00
取 扱 商 品	カメラ、パソコン、OA機器、ビジュアル製品、オーディオ、通信機器、家電製品、時計・宝飾、メガネ・コンタクト、薬、寝具、酒、玩具、スポーツ用品、スポーツサイクル等
ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.biccamera.co.jp/shoplist/shop-013.html



■空港型免税店(保税売店)について

消費税だけでなく、物品にかかる関税や酒税、たばこ税が免税となる免税店のこと。本邦を出国する予定の日本人、および外国人が購入することができ、購入時にはパスポートと航空券の提示が必要。

購入者は空港の出国審査後の引渡所にて購入品を受け取った後、目的地に出発します。

空港型免税店と消費税免税店の違い

	消費税	関税	酒税	たばこ税	購入できる方
空港型免税店 (Duty Free)	免税	免税	免税	免税	本邦を出国する日本人、外国人
消費税免税店 (Tax Free)	免税	課税	課税	課税	本邦を出国する外国人、 海外居住日本人

